

# 策定に向けての視点

## 【限りある経営資源のさらなる有効活用】

対象を明確にして最も有効な手段を検討するなど、最小の経費で最大の効果を挙げます。

## 【実行性と実効性の視点に基づく施策の立案】

事業の進捗が問われる実行性と、事業の効果が問われる実効性について、重視すべき点を考慮した施策の立案に努めます。

## 【市民にとって分かりやすい計画】

理想のまちを実現するためには、行政・市民・自治組織等による協働が不可欠であることから、誰が見ても分かりやすい計画とします。

## 【職員が活用できる計画】

計画が示す方向性に向かって、全職員が共通の認識を持って日々の業務を遂行するためにも、職員にとっても使いやすい計画とします。

## 【的確な分析・評価をするための指標の設定】

客観的根拠に基づく指標を設定することで、事業の効果を正確に把握します。